

育成を目指す資質・能力

ガンディーの功績について書かれた英文を読む活動を通して、平和や人権について考えたことや、その時代に活動していた人についての情報等を説明することができるようにする。

ICT活用のポイント

個別最適な学びの実現 / 個人のペースで学習を進めることができ、音声面の確認や習得を容易にすることができる。

事例の概要

【つかむ】

ALTのモデルを通して、単元の課題解決への見通しをもつ

あこがれの人物を紹介しよう！

【追究する】

単元の課題解決に向けて、新出言語材料に触れながら教科書本文を読解していく

【まとめる】

あこがれの人物を紹介するとともに、その内容について感想や質問を伝え合う

【事例におけるICT活用の場面①】

- 新出単語について、デジタル教科書を用いて、各自のペースで何度も繰り返し聞いたり、声に出して言ったりしてみる。

【事例におけるICT活用の場面②】

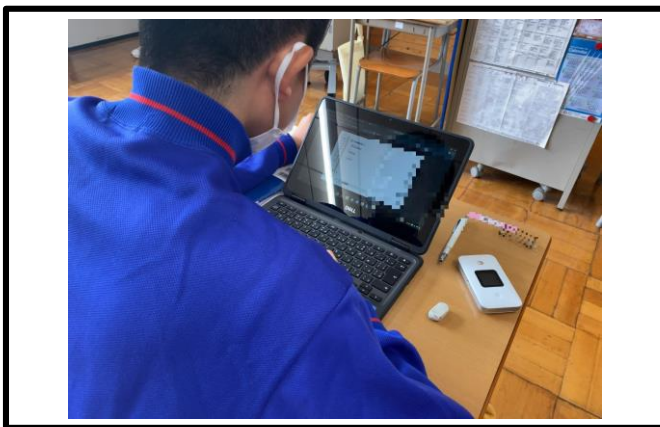
- 教科書本文で、ガンディーについて書かれた英文を探し出して、デジタル教科書に各自で下線を引く。

【事例におけるICT活用の場面③】

- 教科書本文について、デジタル教科書を用いて、英文を聞き、概要を捉えている。

【外国語・中3・「Unit 5 A Legacy of Peace」】②

【事例におけるICT活用の場面①】



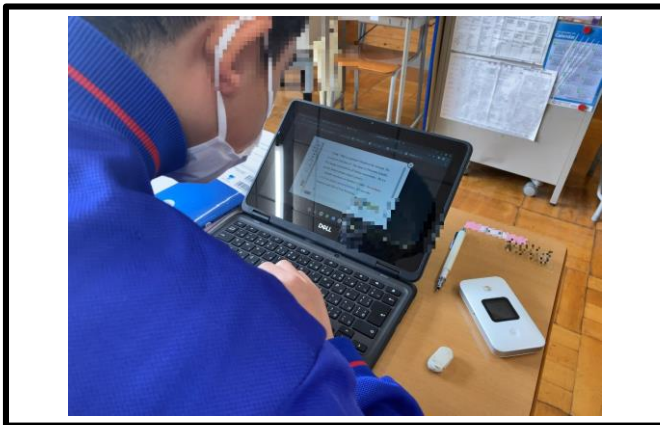
新出単語について、学習者用デジタル教科書を用いて、各自のペースで何度も繰り返し聞いたり、声に出して言ったりしてみる。一斉授業では難しかったが、少人数の授業では、難しいと感じた単語については、速さを変えてみたり、その単語だけ繰り返し聞いたり、声に出して言ったりすることができるなど、生徒のペースに合わせて学習することができる。

【事例におけるICT活用の場面②】



教科書本文で、ガンディーについて書かれた英文を探し出して、学習者用デジタル教科書に各自で下線を引く。何度も書いたり消したりできるので、試行錯誤しながら線を引くことができる。また、各自の端末画面を、Wi-Fiで大型モニターに映し出して共有することができる。

【事例におけるICT活用の場面③】



教科書本文について、学習者用デジタル教科書を用いて、英文を聞き、概要を捉えている。音声に合わせて文字の色が変わるので、苦手な生徒も本文のどこが読まれているのかがすぐにわかり、音声と文字・綴りを一致させることができる。また、新出単語の学習同様、各自のペースで何度も繰り返し聞いたり、声に出して言ったりしてみるができる。

【活用したソフトや機能】
・学習者用デジタル教科書